

## 成長の環境づくり

その他にエンカレッジでは学力＝意識を高めるために実践していることがある。しつけを重視・徹底して塾で勉強する基本姿勢を作ること。そして、あいさつをする、約束を守る、後ろ向きの言葉を言わないなど自分を高めることである。教育環境構築と学力向上は、子供たちの意識を高めることと深く関係している。学力が向上することで意識が上がり、それが家庭に良い影響を与え、また将来の成熟した社会づくりに大きく影響するのではないだろうか。そして社会の成熟により経済が発展し、その豊かさで教育投資ができる。社会の大きな流れで見た場合、この良い循環が必要だと考える。一個人にとっても社会にとっても学力は重要なものだと思ふ。

## 未来へ いっほ



坂 晴紀 (NPO法人「エンカレッジ」理事長)

エンカレッジが活動を始めたのは2008年。塾を経営する中で、経済的事情で通塾できない子供の多さを目の当たりにしたことがきっかけだった。賛同していただいた企業や個人からの基金による、経済的事情を抱える家庭の子供たちの通塾支援を始めた。

09年には沖縄市の委託で同市一番街と銀天街に、就学援助児童や生活保護世帯の児童が無料で通える学習塾を開設した。その後も県や五つの市から委託を受けて生活保護世帯の子供を対象にした教室を開設した。現在210人の子供が在籍しているが、これまで学校以外で学ぶ環境が得られなかった子がほとんどだ。

今回の定期テストで82%の子供たちの席次が上がった。席次が上がったことの効果として、A君が話していた「久しぶりにお母さんに褒められた」という言葉が象徴的である。家庭の中で認めたり認められたりしたことが、お互いに夢や希望を持つことにつながったのではないだろうか。子供たちは認められたことで、成功を体験し、自信をつけて意識や意欲が向上した。